

## 議 事 録

会議の名称	平成 26 年度第 1 回茨木市立文化財資料館運営審議会
開催日時	平成 26 年 5 月 26 日 (月) (午前・ <u>午後</u> ) 6 時 0 0 分 開会 (午前・ <u>午後</u> ) 7 時 0 0 分 閉会
開催場所	文化財資料館 2 階 研修室
出席者	委員長：瀧端 真理子 (追手門学院大学心理学部教授) 副委員長：岡市 正規 (茨木神社宮司) 委員：松田 八重子 (茨木市文化財解説員) 足立 久美子 (公益財団法人 堺都市政策研究所理事) 白井 亮吾 (茨木市小学校社会科研究部会副部長 (豊川小学校)) 中谷 早苗 (千提寺キリシタン遺物保存会役員) 辻尾 榮市 (大阪府立大学客員研究員) 難波 洋三 (奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター長) 若林 邦彦 (同志社大学歴史資料館准教授) 泉 章子 (茨木市立東奈良小学校校長) (敬称略) 【計 10 人】
欠席者	なし
事務局職員	八木 章治 教育長、久保 裕美 教育総務部長、 森岡 恵美子 教育総務部次長兼社会教育振興課長、 梶原 啓三 文化財資料館長、前田 聡志 文化財係長、 黒須 靖之 学芸員、清水 邦彦 学芸員、高橋 伸拓 学芸員 【計 8 人】
開催形態	<u>公開</u> / 非公開
議題 (案件)	(1) 委員長・副委員長の選出 (2) 平成 25 年度文化財資料館等事業報告について (3) 平成 26 年度文化財資料館等事業計画について (4) その他
配布資料	平成 26 年度 第 1 回 茨木市立文化財資料館運営審議会 資料

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	<b>【開会】</b>
教育長	<b>【開会挨拶】</b>
事務局	<b>【文化財資料館運営審議会委員の紹介・事務局職員の紹介】</b> 平成 26 年 5 月 1 日付け委嘱された委員を紹介。 平成 26 年 4 月 1 日付け人事異動に伴う事務局職員の紹介。
事務局	<b>【会議の成立】</b> 全委員 10 人中 10 人出席につき、茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 4 条第 3 項の規定により、本会議は成立する旨を説明。
	《案件 1 委員長・副委員長の選出》
事務局	<b>【委員長及び副委員長の選出】</b> 茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 3 条第 1 項「審議会に委員長及び副委員長各 1 人を置き、委員の互選とする」により、互選による選出を説明。
A 委員	委員長は、瀧端委員にお願いしたいと思います。  (異議なしの声)  —他委員の賛同を得て、委員長は瀧端真理子委員に決定—
委員長	<b>【就任挨拶・副委員長の選出】</b>
B 委員	副委員長について岡市委員にお願いしたい。  (異議なしの声)  —他委員の賛同を得て、副委員長は岡市正規委員に決定—
委員長	会議の公開・非公開について決定したいと思います、公開ということ でよろしいでしょうか。  (異議なしの声)

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
委員長	本会議は公開と決定いたします。本日、傍聴人はいますか。
事務局	1人います。  (傍聴人入場)
	<b>《 案 件 2 平 成 25 年 度 文 化 財 資 料 館 等 事 業 報 告 に つ い て 》</b>
委員長	では次第に従い、報告事項の「平成 25 年度文化財資料館等事業報告について」、事務局から報告、説明をお願いします。
事務局	平成 25 年度文化財資料館等事業報告資料を基に、説明。
委員長	説明ならびに報告事項について、意見・質問等をどうぞ。
C 委員	<p>昨年度 11 月 22 日に、大阪府社会科教育研究大会が茨木で行われた。その際には文化財資料館の資料を活用し、大阪府内の教員に資料が提供できた。資料館では、11 月が年間で最大の来館者数になっているが、その効果はあったのでしょうか。</p> <p>小学校の現場では、毎年多くの教員が採用されている状況にあり、社会科が苦手な教員が多く見受けられる。「ちょっと昔のいばらき展」などでは小学生が実際にモノを見て・触れるといった対応をいただいているが、もう一步踏み込んでいただいて、小学校へ出向いていただければより活性化すると思うが、いかがでしょうか。</p> <p>郡山宿本陣の特別公開について、入場者はおそらく大人が中心だと思います。本陣には昔の生活をうかがえる資料も多くあるため、この期間に小学校の団体見学を受け入れることが可能であれば、お願いしたい。</p>
事務局	<p>11 月の最終週に来館者が増えたのは事実です。社会科教育研究大会の効果もあったと考えています。また、テーマ展の最終週でもあり、相乗効果で来館者が増えたものと思われま。</p> <p>小中学校の校長会で団体見学を呼びかけており、出前講座についてもお伝えしている。本陣も団体見学を受け付けており、学校へ案内もしているが、あまり活用していただけていないようです。引き続き、学校への案内を行っていきたい。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
D 委員	文化財資料館の入館者数について、全体的に右肩上がり非常に結構なことだが、平成 24 年度が多く、25 年度は若干減っているのは 24 年度に何らかの特殊な要因があったと思うのですが、教えてください。
事務局	24 年度はキリシタン遺物史料館開館 25 周年記念事業として開催した「世界へ羽ばたくキリシタン遺産」の入館者数が多かったです。キリシタン遺物史料館・京都大学総合博物館と連携し、景品付きのスタンプラリーも行ったこと、新聞に掲載されたこと、そしてなにより、隠れキリシタンというテーマそのものが魅力的なものであったからと考えています。
E 委員	報告から資料館の事業が多岐にわたることがわかりました。もっと出前講座をとという声もあり、学芸員やスタッフは大変だろうと思います。気になる点として、25 年度の埋蔵文化財の発掘調査について報告を受けましたが、文化財資料館では、学芸業務と埋蔵文化財業務をどのように仕分けされているのでしょうか。
事務局	今年度の 4 月に、新規採用職員として発掘調査員が 3 名加わり、本庁で埋蔵文化財行政事務をしています。文化財資料館では遺物を保管し、整理作業を行っています。学芸員は基本的に資料館の業務に専念していますが、一部、発掘調査報告書の作成に関わる業務にも携わっています。
E 委員	わかりました。学芸業務、埋蔵文化財業務、どちらもしっかり行える体制づくりを望みます。
	<b>《 案 件 3 平 成 26 年 度 文 化 財 資 料 館 等 事 業 計 画 に つ い て 》</b>
事務局	平成 26 年度文化財資料館事業計画資料を基に説明。
委員長	説明ならびに報告事項について、意見・質問等をどうぞ。
F 委員	今年度も多岐にわたる事業で大変だと思うが、今年度はここに力を入れたいというところがあれば、お教えいただけないでしょうか。
事務局	今年度は、文化財資料館開館 30 周年記念展示として行う、免山篤コレクションを取り上げ、第 31 回テーマ展に力を入れたいと思います。免山篤氏は、大阪府下の大変有名な郷土史家で、6 千数百点の資料を持っています。全ての整理は難しいが、茨木や周辺の歴史を考える上で、貴重なものです。

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	ので、世に公開していきたいと考えています。
委員長	まだ、免山篤コレクションの調査・研究は進んでいないということでしょうか。
事務局	点数が多いため、全てを網羅するのは難しいですが、免山氏は資料の台帳を作成されており、その中からピックアップして進めることができます。整理と調査を同時並行で進めています。
委員長	貴重な資料ですので、これを機に、ぜひ研究も進めてもらいたいと思います。ところで、ミニシンポジウムを予定されていますが、講師が水野先生だと、会場は資料館の研修室では、人があふれるのではないのでしょうか。
事務局	往復はがきなどによる事前申し込みで対応しようと思いますが、申込方法は検討中です。会場を借りる予定は今のところありません。
D 委員	免山氏の資料をこのようなかたちで公開されるということは、将来的には寄贈を考えられているのでしょうか？
事務局	免山氏の資料は全て、昨年の秋に寄贈していただいております。当館でしっかり保管し、公開できるようにしていきたいと考えています。
委員長	茨木にずっとご在住だったのでしょうか。
事務局	茨木にご在住でした。
E 委員	免山氏の考古資料だけではなく、開発が進むまえに免山氏が行った調査記録もあるのでしょうか。
事務局	数冊あります。これも展示することで、免山氏がどのような活動をしていったのかということがわかる展示にしていきたいと考えています。
委員長	良い企画ですので、よく広報をしていただいて、広く知っていただければと思います。
A 委員	活動報告と今の話といい、しっかりと進めていかれていると思います。文化財資料館の存在意義、PRの部分になりますが、例えば、安いもので

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>構わないので、文化財資料館で銅鐸ストラップなどをつくり、学校で子どもたちの話題になり、資料館が知られていく。そういった広がり方をもつことも、若干考えてもよいのかなと思います。</p> <p>また、竹田市に行くと、お城の形をした市役所のたたずまいがあり、「日本初歴史文化姉妹都市提携」と記した横断幕が市役所の真ん中に下げられている。市長と話すと、観光を全面に押し出し、あらゆる方法で底上げしていきたいという印象があります。また、茨木市と提携にいたった隠れキリシタンの歴史などの題材がある。</p> <p>報告を聞いていると、多岐にわたる事業をしているため、このようなことを求めることは酷なのかもしれませんが、資料館においても、こういう点も考慮して来館を促すためにも、努力をお願いしたいと思います。</p> <p>今後、検討していきたいと思います。</p>
	<p>《案件4 その他》</p>
委員長	<p>案件以外で、何かご意見はありますか。</p>
D 委員	<p>私はほかのところでもこのような委員をやらせていただいているのですが、その際にいつも気になる点があります。報告にあったように、非常に多岐にわたる事業を展開されている。日本の場合、私も博物館で働いていたのでわかるのですが、事業が右肩上がりにどんどん増えていき、なかなか止めることができない。学芸の方は大変な思いをされているのではないかと思います。</p> <p>たしかに、効果的な宣伝力のある仕事をしていくということは大切だと思うが、一方で、やはり効率が悪いものとか、見直すべきものはやめていく勇気も必要ではないでしょうか。</p> <p>ぜひ、この点を踏まえて、ある程度余裕をもって、良い仕事ができる環境をつくるようにしていただければと思います。</p>
委員長	<p>非常に貴重なご意見ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。ないようでしたら、これをもって、平成26年度第1回文化財資料館運営審議会を閉会いたします。</p>
	<p>以上</p>